

1. 科目名(単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (2単位)		3. 科目番号	SSMP2155 SNMP2355 SCMP2155 SBMP2155 SPMP2155 PSMP2455
2. 授業担当教員	水島 正浩			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法）について理解した上で、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方（原理・理念）を学び、現代に至るまでのソーシャルワークの歴史的な形成過程について学ぶ。</p> <p>さらに、社会福祉士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーそれぞれの倫理綱領を読み解き、ソーシャルワークの価値規範と倫理について考究を行う。</p>			
8. 学習目標	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	<p>・学習の理解度をみる課題を授業内で複数回行う。</p> <p>*その他授業の進行状況に応じて指示します。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版,2021年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説（初等教育編）』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説（中等教育編）』ミネルヴァ書房。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 受講態度・参加姿勢 40%（全授業の3/4以上の出席が必要）遅刻（10分程度迄）は3回で1回休みとなる。</p> <p>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>2. ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>3. ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>4. ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>ソーシャルワークの基盤と専門職はこれから社会福祉士・社会福祉の専門職になるために必要な理論や実践技術修得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成などへの積極的な取組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。</p>			
13. オフィスアワー	授業内（初回授業）に通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポートについての説明	事前学習	教科書の「はじめに」を読み、学習内容の全体的なイメージをつかんでおく。	
		事後学習	教科書の「はじめに」を読み、学習内容の全体的なイメージをつかんでおく。	
第2回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（1） ソーシャルワーク専門職への期待と社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。	
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。	
第3回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（2） 社会福祉士および精神保健福祉士、ソーシャルワーカーの専門性について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。	
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。	
第4回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ（3） ソーシャルワーカーに求められるコンピテンシーについて学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。	
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。	
第5回	ソーシャルワークの概念（1） ソーシャルワークの定義について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。	
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。	
第6回	ソーシャルワークの概念（2） ソーシャルワークの構成要素について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。	

		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第7回	ソーシャルワークの基盤となる考え方(1) ソーシャルワークの原理について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第8回	ソーシャルワークの基盤となる考え方(2) ソーシャルワークの理念(当事者主権、尊厳の保持、 利擁護、自立支援)について学ぶ。	事前学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第9回	ソーシャルワークの基盤となる考え方(3) ソーシャルワークの理念(エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、原理・理念に基づくソーシャルワーク)について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第10回	ソーシャルワークの形成過程(1) ソーシャルワークの源流と基礎確立期、発展期について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第11回	ソーシャルワークの形成過程(2) ソーシャルワークの展開期と統合、日本におけるソーシャルワークの形成過程について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第12回	ソーシャルワークの倫理(1) 専門職倫理の概念と倫理綱領について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第13回	ソーシャルワークの倫理(2) 倫理綱領とソーシャルワーク実践について学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第14回	ソーシャルワークの倫理(3) 倫理綱領と倫理的ジレンマについて学ぶ。	事前学習	教科書の該当箇所を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第15回	まとめ ：これまでの学習を振り返りその内容を確認、今後の自己課題を明確にする。	事前学習	これまでの内容について、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。